

柳川企業物語

No.3



株式会社 マミーズ

地域の雇用を守り地域に貢献
 小回りの利く対応で顧客の心をつかむ



- 1 日曜日に柳川店（田脇）で開かれる朝市は駐車場が満杯になるほど好評
- 2 店舗では特に鮮魚類が充実
- 3 生鮮食品の加工や総菜の製造が行われる、食品加工センター「マミーズデリカ」
- 4 平成17年に久留米市から移転した本社社屋。管理部門が置かれ約30人が働く

今回紹介する企業は、食品スーパーマーケットの株式会社マミーズです。市内には田脇、沖端、中島に店舗を構え、鮮魚や精肉、青果、総菜などを販売。新鮮さとおいしさを、安さを売りに店舗を展開しています。

創業は平成15年。福岡県魚市場株式会社グループが、経営難に陥っていた食品スーパーマーケットのチェーン店10店舗を引き継ぐことでスタートしました。その後も、

筑後地域を中心にスーパーを吸収合併しながら規模を拡大。3年前から同社の社長になった石田周一さん（68歳）は、「創業以来、会社の吸収合併は『地域の雇用を守る』ということを一に考えてきました」と話します。現在同社は、筑後地域以外にも、福岡都市圏や佐賀・熊本・長崎県に、30店舗を展開するまでに成長しています。

同社の最大の売りは生鮮食品の新鮮さ。本社の隣には、福岡県魚市場筑後中部魚市場と柳川大同青果市場があります。各店舗の商品管理を行う配送センターは、同魚市場グループの倉庫を活用。各店舗への配送についても、同魚市場グループの配送システムを使い、魚や野菜は新鮮なうちに配送される仕組みになっています。さらに本社の敷地内に、食品加工センターを設け、惣菜の製造や精肉、野菜などの生鮮食品の加工や袋詰めを一体的に行うなど、効率化を図っています。

全国展開する流通大手に負けないよう、地域と密接につながり、小回りの利く対応にも力を入れる同社。運動会や地元の祭りの際の弁当や法事の料理の手配など、顧客の要望を聞きながら細かく応じています。また、地元の農家と契約し、期間限定でイチゴや巨峰などの特産品を販売するなど、同社の地域密着型の取り組みは、顧客の心を確実につかんでいます。

【企業情報】

- 本社所在地=筑紫町 334-16
- ☎ 74・8032
- 資本金=1億円
- 代表取締役社長=石田周一
- 従業員=1034人

●社長のひとこと
 地域に働く職場があることはありがたいこと。従業員が一生懸命働ける環境づくりをしながら、地域に愛される会社となるよう頑張ります。

【問】市商工・ブランド振興課 企業誘致・ベンチャー支援係 ☎77・8762

●発行 柳川市 / 〒832-8601 福岡県柳川市本町 87-1 ☎0944-73-8111

●編集 総務部企画課広報係 (直通) ☎0944-77-8425 FAX74-5520

●URL <http://www.city.yanagawa.fukuoka.jp/> ●e-mail kouho@city.yanagawa.lg.jp

※この広報紙は、市公式サイトで公開しています。